

研究結果報告書

研究結果

本研究は日本のマンガ・アニメ作品がどのような流通ルートを通じて、中国に入ってきたのか、について解明しようとしたものである。

本研究は以下の六つの流通ルートを中心に検討することになった。

一つ目は、出版物の伝統的流通ルートである。本研究は主要な出版目録やマンガ・アニメ雑誌目次を調査の対象とし、中国において正規のルートで出版されたマンガ図書やマンガ・アニメ雑誌に掲載された日本のマンガ作品を調べ、伝統的な出版ルートにおける日本のマンガ作品の出版状況を基本的に把握することができた。

二つ目は、本屋の流通ルートである。中国においては本屋はマンガ・アニメ作品の最も重要な流通ルートの一つである。本研究は北京、上海、杭州及び広州にあるいくつかの代表的な新華書店、外国語書店（外文書店）、民営書店を対象に調査し、書店における日本のマンガ・アニメ作品の販売状況をおおよそ明らかにすることができた。

三つ目は、マンガ・アニメ専門店流通ルートである。近年、マンガ・アニメ専門店が中国の一部大都会においてマンガ・アニメ作品を販売する重要な流通ルートとなっている。本研究は北京及び広州などにあるいくつかの代表的なマンガ・アニメ専門店を対象に調査し、これらの専門店における日本のマンガ・アニメ作品の流通状況を調べることができた。

四つ目は、テレビ局及び映画館の流通ルートである。本研究は中国のテレビ局における日本アニメの放映の状況、日本アニメの視聴率及び視聴者への影響、人気のある日本アニメ作品と日本アニメのイメージに関する分析及び中国の映画館における日本アニメ映画の放映などを中心に検討し、中国における日本アニメの放映の状況を明らかにすることができた。

五つ目は、インターネット流通ルートである。現在、インターネットは中国における日本のマンガ・アニメ作品を流通させる最も重要なルートである。本研究はまず、マンガ・アニメサイトの出現及びその発展をまとめ、代表的なマンガ・アニメ愛好者サイトについて調査し、その最も重要なマンガ・アニメサイトにおける日本のマンガ・アニメ作品の流通に関するデータを収集し、その分析を行なった。

六つ目は、ニューメディア流通ルートである。インターネットやデジタル技術の発展に伴い、移動通信端末、例えば、スマートフォンやiPadなどの携帯端末が中国においてもますます普及し、マンガ・アニメ作品を鑑賞する重要なメディアとなった。本研究はこれらのニューメディアが日本のマンガ・アニメ作品の流通においてどのような役割を果たしているのか、全面的に調べた。

研究成果の公表について(予定も含む)

口頭発表 (題名・発表者名・会議名・日時・場所等)

「日本マンガ・アニメ産業およびマンガ・アニメ文化の広がり」・李常慶・北京大学信息管理学部文化週講演会・2013年4月21日・北京大学第2教学楼205号教室・約200人が受講。

論文 (題名・発表者名・論文掲載誌・掲載時期等)

中国のマンガ・アニメサイトにおける日本のマンガ・アニメ作品の流通に関する研究 (原稿作成中)

中国における日本マンガ図書の出版事情 (原稿作成中)

書籍 (題名・著者名・出版社・発行時期等)